

Chiba Weekly Report

2022

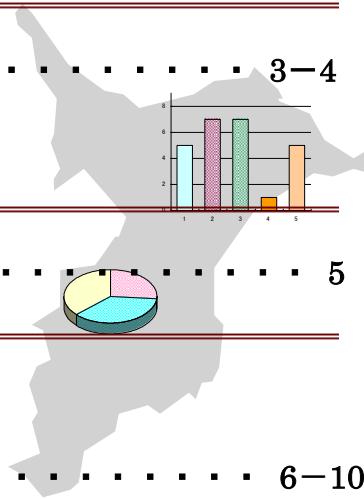
— 第 43 週 — 2022/10/24～2022/10/30

千葉県結核・感染症週報

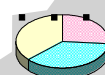
千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症



全数報告疾患集計表 5



定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-14

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2022年 第43週

上段は定点当たり報告数

定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数

下段は報告数

定点	疾病名	流行状況	コメント	43週	42週	41週	40週	39週
小児科	小児科定点医療機関数			131	130	131	130	130
	RSウイルス感染症		海匝(4.3)、市川(1.5)、 印旛(1.3)	0.74 97	0.54 70	0.79 104	1.22 159	0.95 124
	咽頭結膜熱			0.03 4	0.02 3	0.02 3	0.03 4	0.00 0
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		船橋市(1.8)	0.27 35	0.22 29	0.21 28	0.36 47	0.28 36
	感染性胃腸炎		印旛(6.0)、松戸(4.4)、 千葉市(3.1)	2.39 313	2.26 294	1.92 251	1.93 251	2.42 315
	水痘		柏市(1.0)	0.11 15	0.06 8	0.05 6	0.14 18	0.07 9
	手足口病		印旛(1.4)、安房(1.0)	0.56 73	0.72 93	1.05 137	1.15 149	1.65 215
	伝染性紅斑			0.02 2	0.02 2	0.01 1	0.02 2	0.01 1
	突発性発しん			0.21 28	0.26 34	0.23 30	0.35 45	0.22 29
	ヘルパンギーナ			0.05 6	0.16 21	0.17 22	0.22 29	0.38 50
	流行性耳下腺炎			0.05 7	0.09 12	0.05 7	0.05 7	0.08 11
	インフルエンザ	インフルエンザ定点医療機関数			208	209	210	209
インフルエンザ				0.00 1	0.00 1	0.02 4	0.03 6	0.02 4
眼科	眼科定点医療機関数			34	34	34	34	34
	急性出血性結膜炎			0.00 0	0.03 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	流行性角結膜炎		市原(3.0)、印旛(1.5)、 野田(1.0)	0.50 17	0.29 10	0.47 16	0.12 4	0.06 2
基幹病院	基幹定点医療機関数			9	9	9	9	9
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎		5歳未満1例、80代1例	0.22 2	0.00 0	0.00 0	0.13 1	0.00 0
	マイコプラズマ肺炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	無菌性髄膜炎		70代1例	0.11 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.11 1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
全数	風しん			0	0	0	0	0
	麻しん			0	0	0	0	0

備考

増加 やや増加 変化なし やや減少 減少

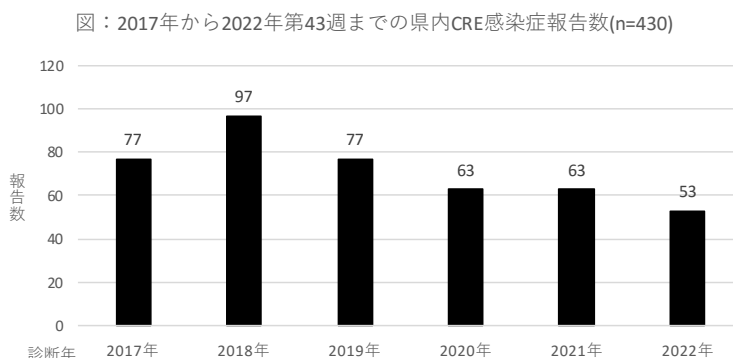
※診断日を基準とします。報告の追加、取り下げ等により、数値は今後変動することがあります。

【今週の注目疾患】

《カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症》

11月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間である。本来ならば効くはずの抗菌薬・抗生物質が効かなくなることを「薬剤耐性（AMR:Antimicrobial resistance）」という。2019年4月29日、国連は抗生物質が効きにくい薬剤耐性菌が世界的に増加し、危機的状況にあるとして各国に対策を勧告している。日本では毎年11月を「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」と設定している¹⁾。

2022年第43週までに県内の医療機関からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（以下、CRE感染症）が53例報告された。性別では女性28例（53%）、男性25例（47%）であった。年代別では80代が19例（36%）で最も多く、次いで70代が15例（28%）であり、60歳以上の割合が9割をこえていた。菌種別では *Enterobacter cloacae complex* 29例（55%）と最も多く、次いで *Klebsiella aerogenes* 11例（21%）であった。新型コロナウイルス感染症の流行以降、県内では報告数の減少がみられる感染症もあるが、CRE感染症の報告数は2019年以前と比較して大きな減少は見られていない（図）。



厚生労働省は、CRE感染症患者の発生届出が医療機関からあった際に、当該患者の検体の提出を求め、地方衛生研究所等でカルバペネマーゼ遺伝子（耐性遺伝子）等の試験検査を実施することとしている（CRE病原体サーベイランス）²⁾。2017年から2022年第43週までに県衛生研究所実施分として243検体が登録されている。登録された243例のうち、菌種別の内訳で最も多く登録された菌種は *K. aerogenes* 90例（37%）であり、次いで *E. cloacae complex* 80例（33%）、*K. pneumoniae* 25例（10%）であった。カルバペネマーゼ遺伝子が検出されたのは67例（28%）であり、IMP型55例（23%）、NDM型12例（5%）であった（表）。最も多くカルバペネマーゼ遺伝子が検出された菌種は、IMP型では *E. cloacae complex* 38例（38/55,69%）、NDM型では *E. coli* 8例（8/12,67%）であった。

表：2017年から2022年第43週までに県内医療機関から届け出られたCRE感染症患者から分離されたCREの薬剤耐性遺伝子の検査結果

菌種名	検体数	IMP型		NDM型		菌種名	検体数	IMP型		NDM型	
		報告数	割合	報告数	割合			報告数	割合	報告数	割合
<i>Klebsiella aerogenes</i>	90	1	1%	-	-	<i>Klebsiella oxytoca</i>	2	2	100%	-	-
<i>Enterobacter cloacae complex</i>	80	38	48%	1	1%	<i>Morganella morganii</i>	2	-	-	-	-
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	25	3	12%	1	4%	<i>Citrobacter braakii</i>	1	-	-	-	-
<i>Escherichia coli</i>	19	1	5%	8	42%	<i>Citrobacter koseri</i>	1	-	-	1	100%
<i>Citrobacter freundii</i>	10	6	60%	1	10%	<i>Citrobacter youngae</i>	1	1	100%	-	-
<i>Providencia rettgeri</i>	3	2	67%	-	-	菌種名記載なし	6	1	17%	-	-
<i>Serratia marcescens</i>	3	-	-	-	-	合計	243	55	23%	12	5%

※KPC型、OXA-48型は検出されていない

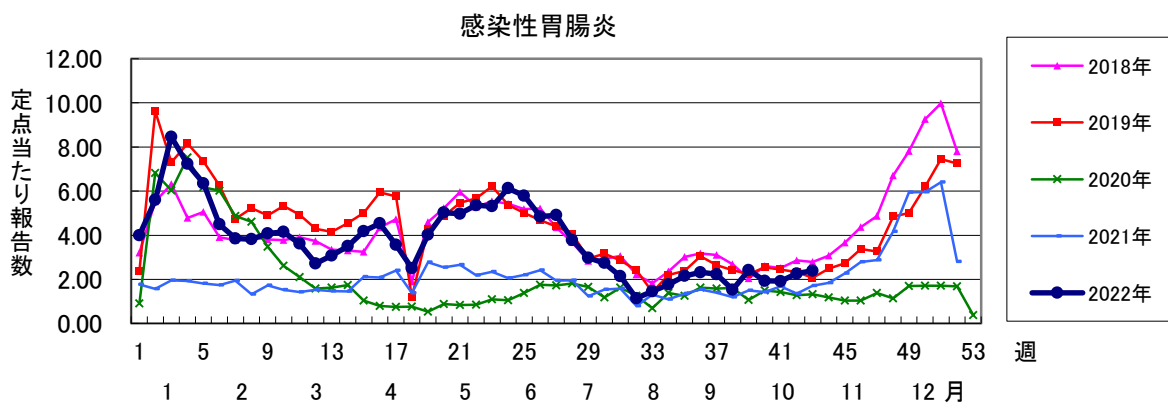
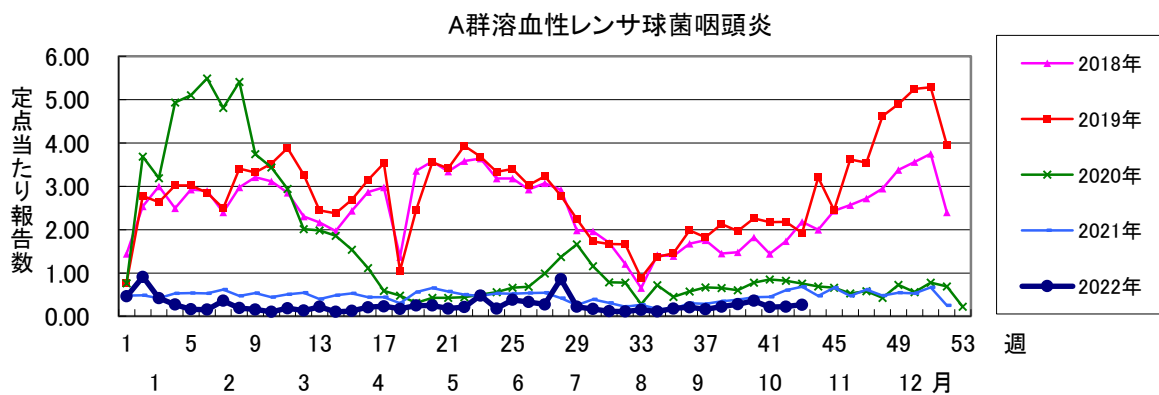
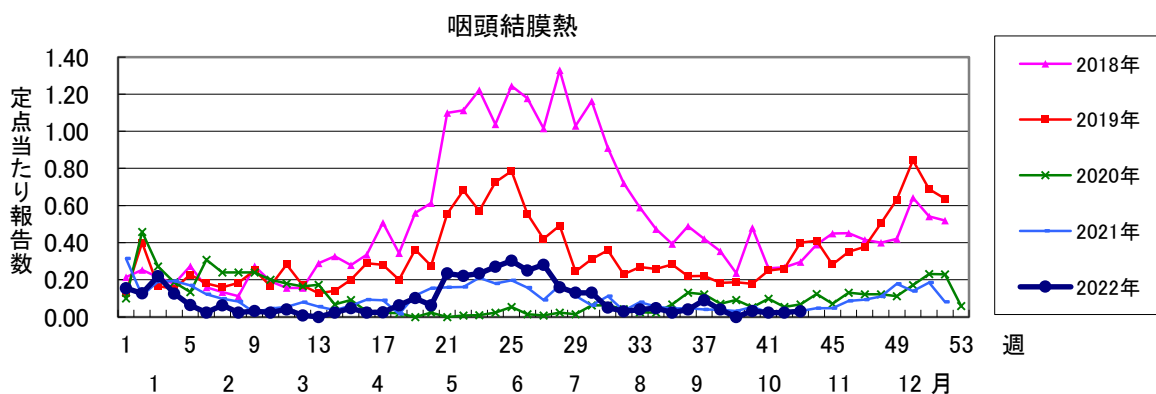
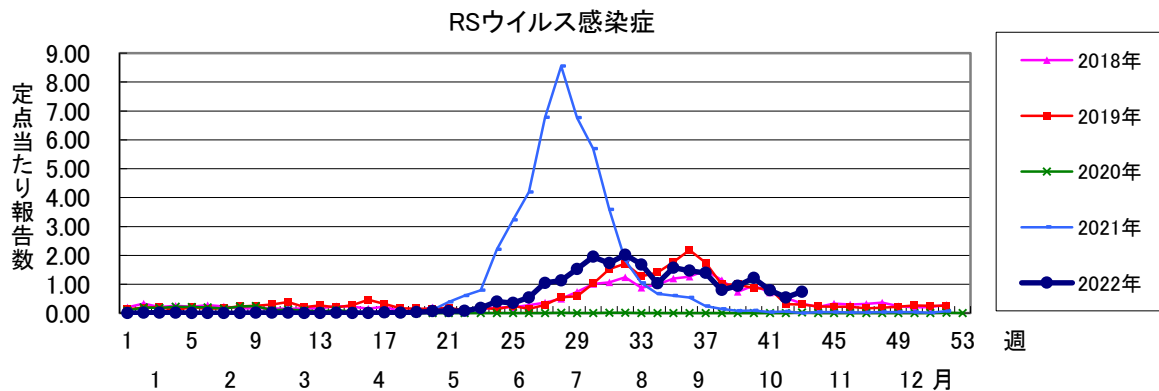
CRE 感染症は、カルバペネム系抗菌薬および広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症の総称である。CRE は主に感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに感染症を起こす。尿路感染症、肺炎などの呼吸器感染症、手術部位や皮膚・軟部組織の感染症、カテーテルなど医療器具関連血流感染症、敗血症、髄膜炎、その他多様な感染症を起こし、しばしば院内感染の原因となる。CRE のなかでもカルバペネム分解酵素であるカルバペネマーゼを産生する腸内細菌科細菌（CPE）はβ-ラクタム剤以外の抗菌薬に耐性を示す場合も多く、CPE による菌血症は、カルバペネマーゼ非産生 CRE によるものと比較して治療予後が悪いと報告されている。また、CPE は多くの場合、カルバペネマーゼ遺伝子をプラスミド等の可動性遺伝子上に保有するため、薬剤耐性を菌種をこえて伝播させることが知られている。このため、CRE のうち CPE は院内感染対策上も治療上も区別が必要と考えられており、カルバペネマーゼ遺伝子検査の実施が必要とされている。カルバペネマーゼにはいくつかの種類があり、国内で多くみられる IMP 型、海外で広がっている NDM 型、KPC 型、OXA-48 型が知られている³⁾。

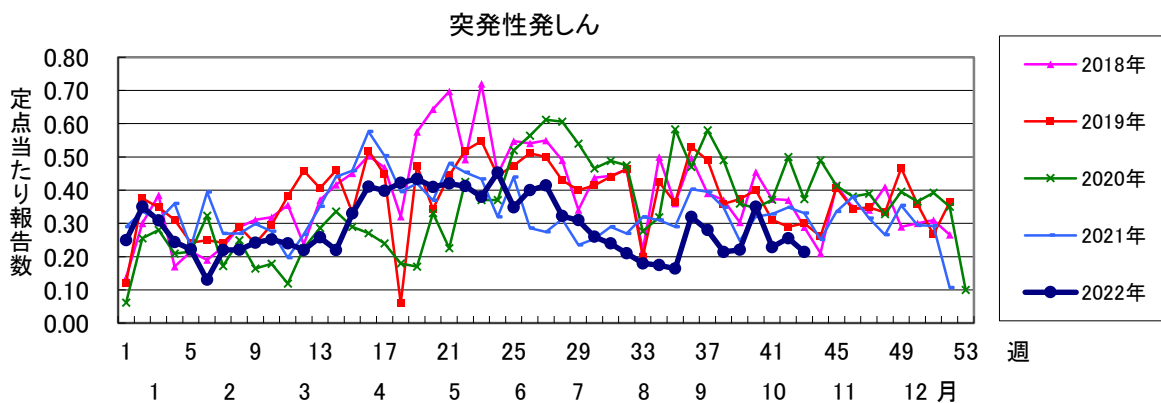
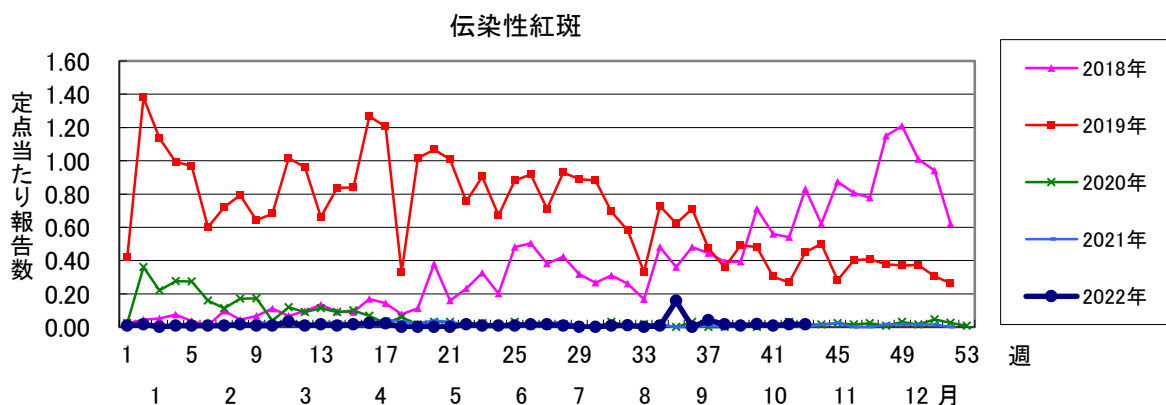
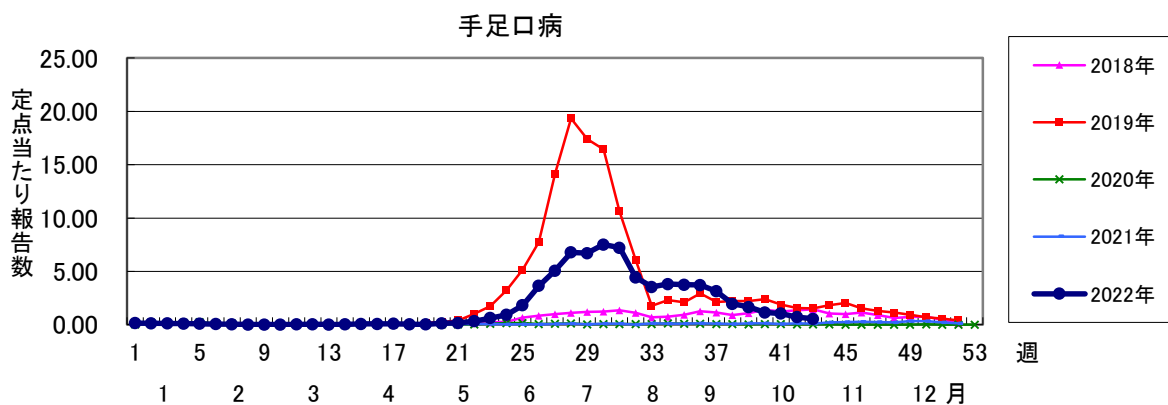
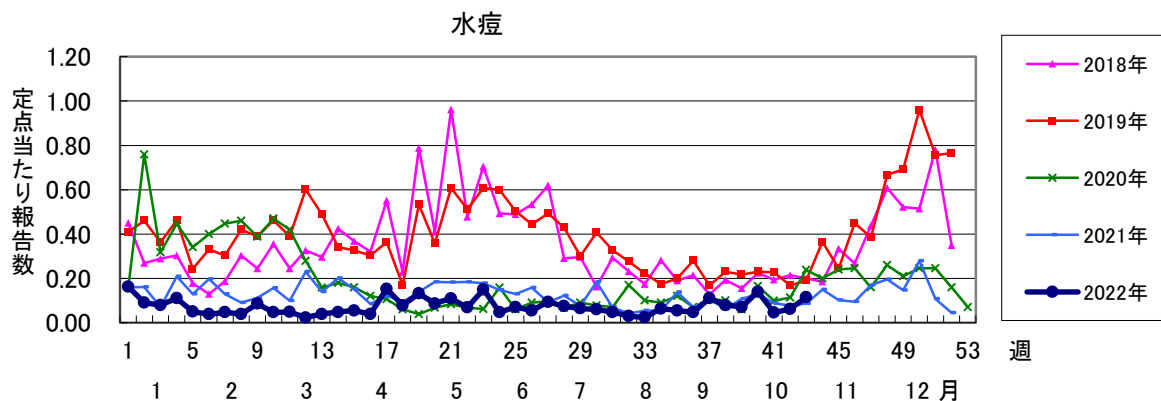
各機関における感染拡大防止には、全ての患者に対して感染予防策のために行う標準予防策（手洗い、手袋・マスクの着用等が含まれる）と必要に応じた感染経路別予防策（接触予防策）を実施する。手指衛生については、手洗い及び手指消毒のための設備・備品等を整備するとともに、手洗いは患者や患者周辺の物品に触れる前後で行う。接触予防策には個室管理が望ましく、標準予防策に加え、室内に入る際には手袋及びビニールエプロン（ガウン）を着用する^{4,5)}。

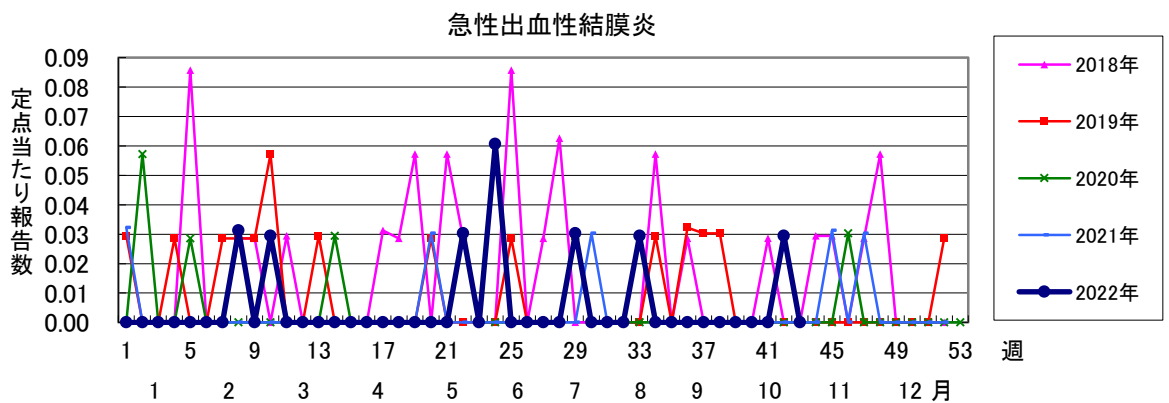
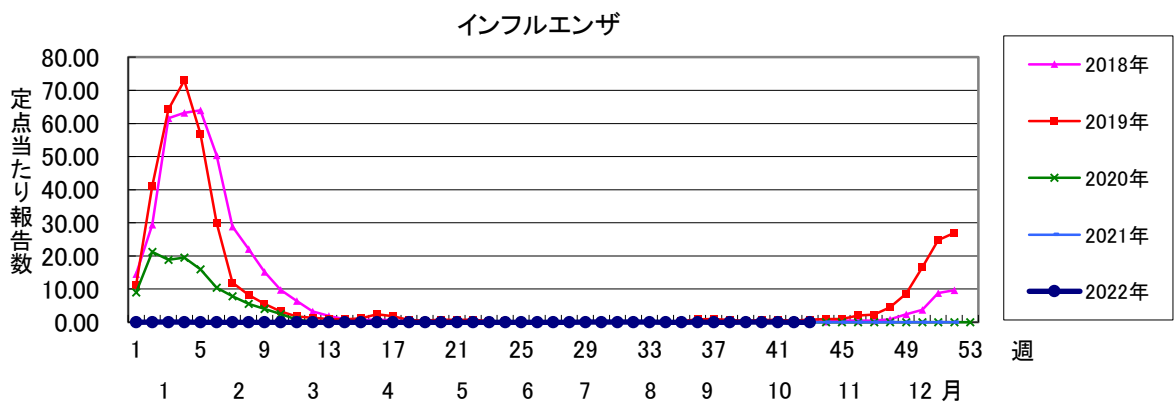
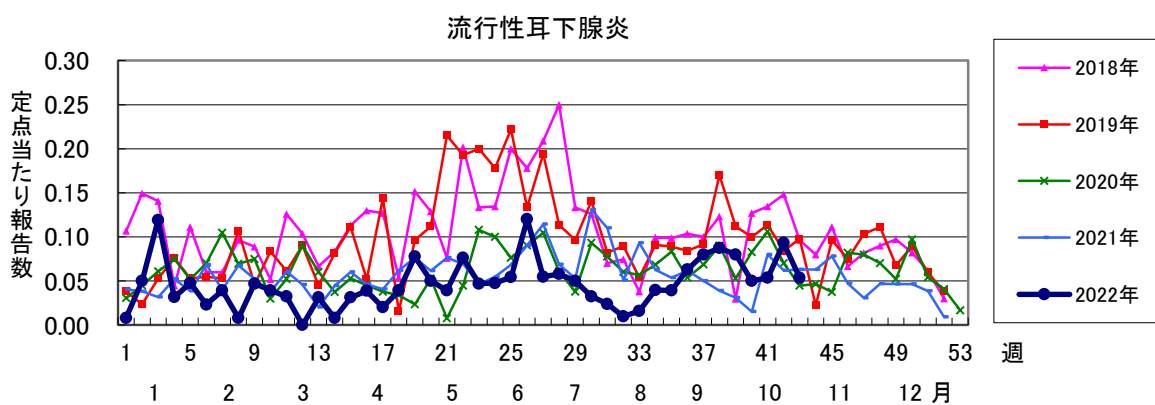
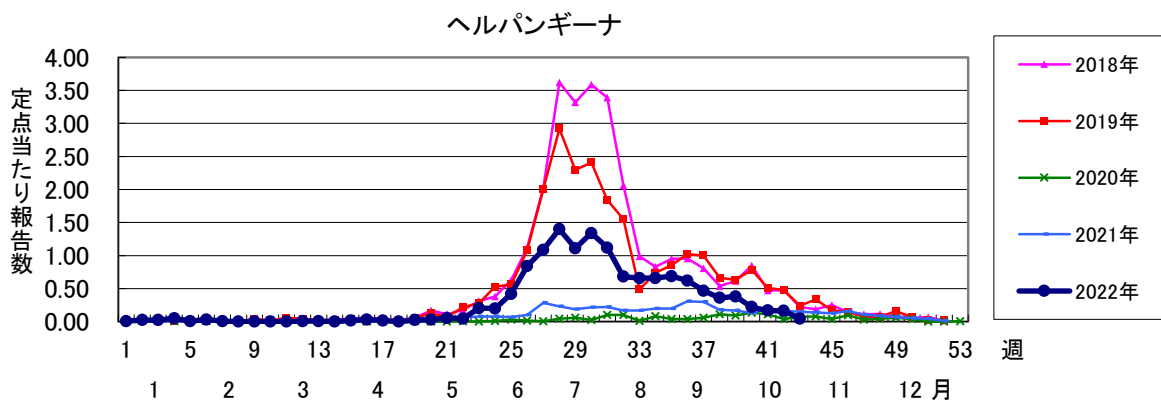
また、薬剤耐性（AMR）による感染症は、医療関連感染症として医療機関において大きな問題となっていることに加え、最近では、医療機関外での市中感染型が増加している⁶⁾。それぞれの医療機関が実施する院内感染対策だけでなく、地域における薬剤耐性菌の広がりを把握し、必要に応じて拡大防止対策を講じるために、地域連携が重視される⁷⁾。

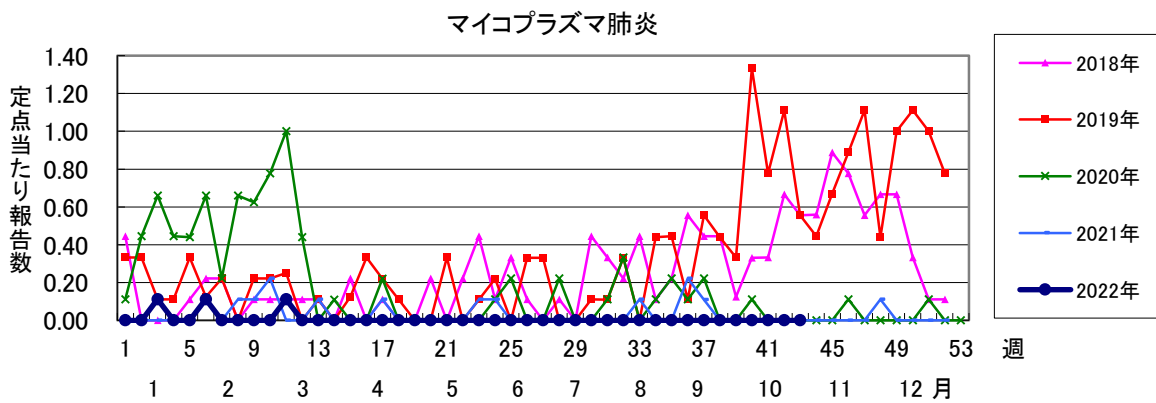
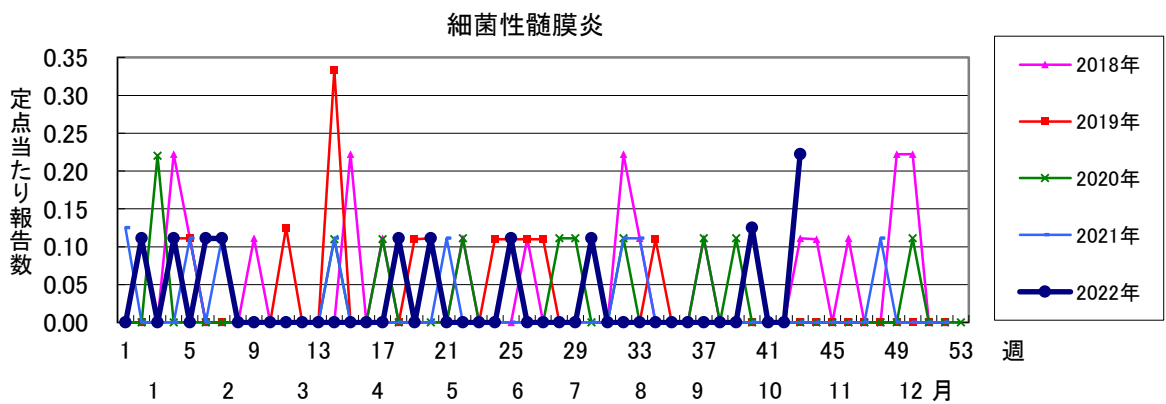
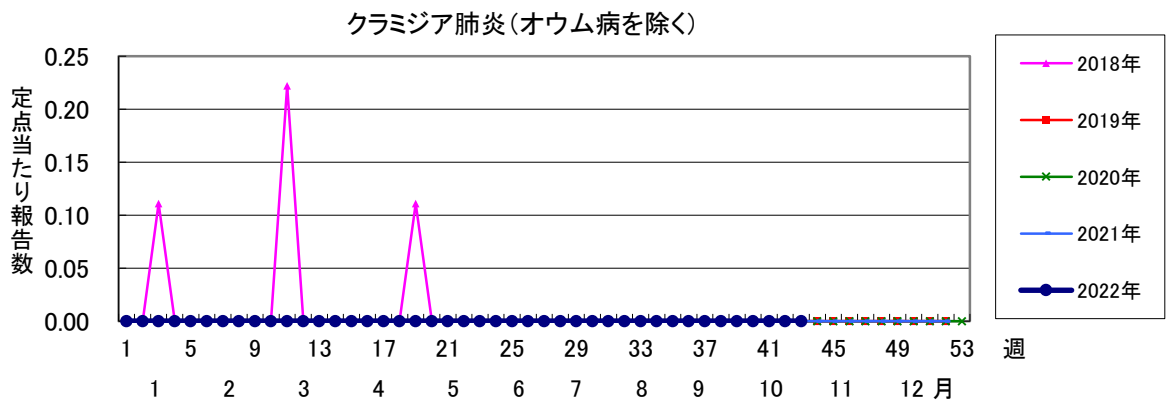
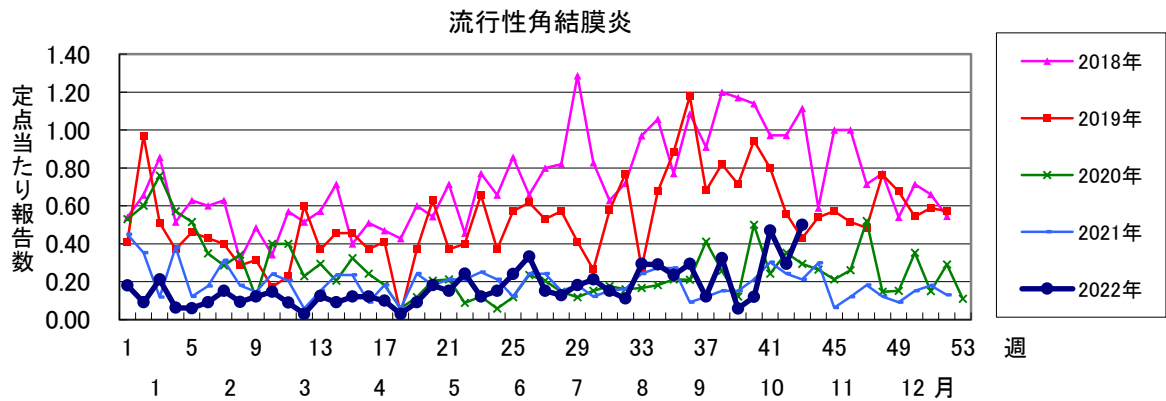
■参考

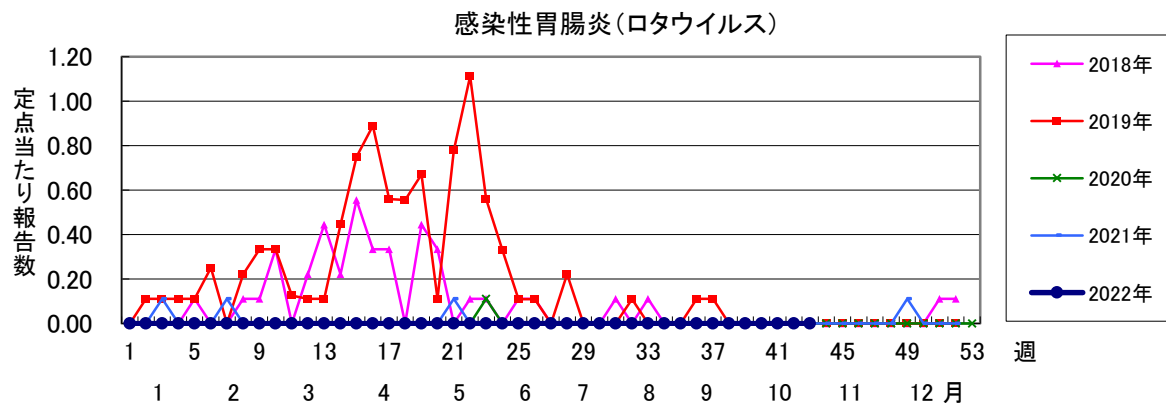
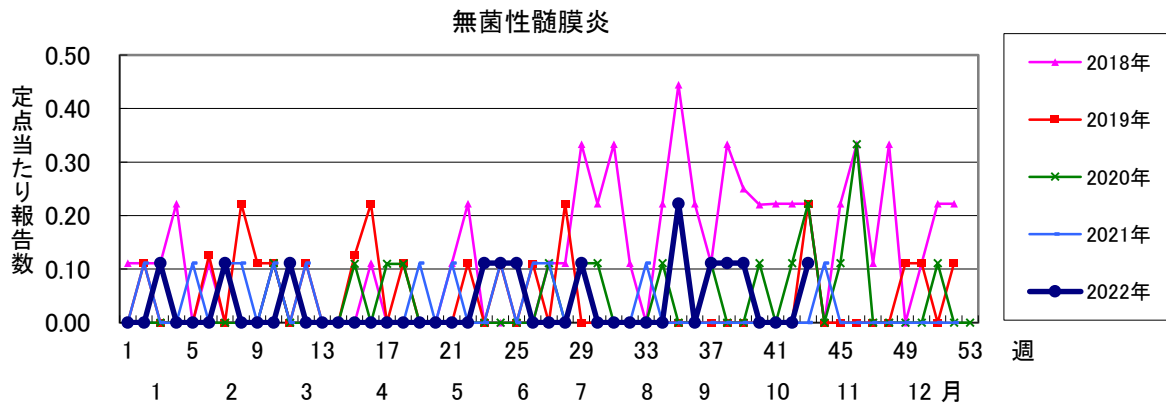
- 1)AMR 臨床リファレンスセンター（厚生労働省委託事業）：薬剤耐性（AMR）対策推進月間 2022
<https://amr.ncgm.go.jp/information/campaign2022.html>
- 2)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症等に係る試験検査の実施について
（厚生労働省通知平成 29 年 3 月 28 日健感発 0328 第 4 号）
- 3)国立感染症研究所疫学センター：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/cre-m/cre-iasrtpc/8614-468t.html>
- 4)医療機関における院内感染対策について
（厚生労働省通知平成 26 年 12 月 19 日医政地発 1219 第 1 号）
- 5)AMR 臨床リファレンスセンター：標準予防策と感染経路別予防策
<https://amr.ncgm.go.jp/medics/2-5-2-4.html>
- 6)厚生労働省：薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン 2016-2020
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000120769.pdf>
- 7)感染症教育コンソーシアム：中小病院における薬剤耐性菌アウトブレイク対応ガイドンス
https://amr.ncgm.go.jp/pdf/201904_outbreak.pdf











2022年 第43週 保健所別、年齢群別報告数(男女合計) No.1

		野田	柏市	松戸	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計
小児科定点数		4	9	15	11	10	10	18	16	3	3	6	4	3	4	8	7	131
RSウイルス感染症	～5ヶ月～11ヶ月		3	2	1		1		6		2						2	17
	1歳		2		4	1	1		2		3						4	17
	2歳	2		2	5	5	4	2	6		5							31
	3歳	1	2	3	1	1	2		1		2		1					14
	4歳				3		2		1		1							8
	5歳			1	2	1			2				1					7
	6歳			1					2									3
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20歳以上																	
	合計		4	7	9	16	8	10	2	20		13		2				6
咽頭結膜熱	～5ヶ月～11ヶ月																	
	1歳															1		1
	2歳																1	1
	3歳							1										1
	4歳																	1
	5歳																	
	6歳						1											1
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20歳以上																	
	合計							2								2		4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	～5ヶ月～11ヶ月					1					1							2
	1歳																	4
	2歳					3		1										3
	3歳				1	1			1									3
	4歳			1					1		1							3
	5歳					5		1	1									7
	6歳					2			1									3
	7歳		1	1		1		1										4
	8歳					1												1
	9歳					2	1											3
	10～14歳			1		2												3
	15～19歳																	
	20歳以上							2										2
	合計		1	3	1	18	3	3	4		2							35
感染性胃腸炎	～5ヶ月～11ヶ月			1					1									2
	1歳			6	1	1	1	8	4		1						1	23
	2歳		2	9	4	6		7	25								2	55
	3歳		2	3	2	1	2	11	18		2	1					3	45
	4歳		2	7	1	1	2	7	7			2					1	30
	5歳		3	15	1		3	3	17	1		1				1	1	46
	6歳		4	8		2	3	7	5			1						30
	7歳		4	2	1	1		4	4		1						1	18
	8歳			3					6		1		1				2	13
	9歳			4					1	1		2	1					9
	10～14歳		1	2				1	4		2							10
	15～19歳		1	5		1		6	3					1				17
	20歳以上		2	1						1	1		7	1			1	14
	合計		22	66	10	13	11	55	96	2	9	13	3			1	12	313

2022年 第43週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.2

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
小児科定点数		4	9	15	11	10	10	18	16	3	3	6	4	3	4	8	7	131	
水痘	～5ヶ月 ～11ヶ月							1										2	
	1歳		1															3	
	2歳					1	1											2	
	3歳		4															4	
	4歳		1															1	
	5歳																		
	6歳							1											1
	7歳																		
	8歳															2			2
	9歳																		
	10～14歳																		
15～19歳																			
20歳以上																			
合計		9				1	2	1							2			15	
手足口病	～5ヶ月 ～11ヶ月			1		1	1	1							1			5	
	1歳		1	4		1	6	3	12			1			1	1		30	
	2歳		4	1	2	1		2	3						1			14	
	3歳		1			2			7			2				1		13	
	4歳				1	1		2							1			5	
	5歳		1					1	1			1						4	
	6歳								1									1	
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳							1											1
15～19歳																			
20歳以上																			
合計		7	6	3	6	9	9	23			4			4	2			73	
伝染性紅斑	～5ヶ月 ～11ヶ月																1	1	
	1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																1	1	
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
15～19歳																			
20歳以上																			
合計																	2	2	
突発性発しん	～5ヶ月 ～11ヶ月		1	1	1	1	1		1			1						7	
	1歳			1	1	3	1	4	3	1	1	1						16	
	2歳							1									1	2	
	3歳							1		1								2	
	4歳																		
	5歳			1														1	
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
15～19歳																			
20歳以上																			
合計		1	3	2	4	2	6	4	2	1	2						1	28	

2022年 第43週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.3

		野田	柏市	松戸	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計
小児科定点数		4	9	15	11	10	10	18	16	3	3	6	4	3	4	8	7	131
ヘルパンギーナ	～5ヶ月																	合計
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
9歳																		
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計			1		1	2	2											6
流行性耳下腺炎	～5ヶ月																	合計
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳	1																
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
9歳																		
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		1	1	1		1		1		1						1		7

2022年 第43週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.4

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
インフル定点数		7	14	24	15	16	16	28	24	6	6	9	7	5	7	13	11	208	
インフル エンザ	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳						1												1
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20～29歳																		
	30～39歳																		
40～49歳																			
50～59歳																			
60～69歳																			
70～79歳																			
80歳以上																			
合計						1												1	
眼科 定点数		1	2	5	2	3	3	5	4	1	1	1	1		1	2	2	34	
急性出 血性 結膜 炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20～29歳																		
	30～39歳																		
40～49歳																			
50～59歳																			
60～69歳																			
70歳以上																			
合計																			
流行性 角結 膜炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																1	1	
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20～29歳	1		1						1							1	4	
	30～39歳					1											1	2	
40～49歳									1								1		
50～59歳								1	1								2		
60～69歳																2	2		
70歳以上					1				3							1	5		
合計	1		1		2			1	6							6	17		

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

千葉県結核・感染症週報 2022年 第43週

発行 千葉県衛生研究所
千葉県健康福祉部
千葉県医師会
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内
千葉県感染症情報センター
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。